

リサイクル燃料貯蔵株式会社	
提出日	2022年4月8日
管理表No.	0209-35 改訂01

項目	コメント内容
安全機能を有する施設 (第13条)	<p>添付 11-1P2(PDF2467), コメント回答 No.1206-01 ~ P178~179</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入れ区域天井クレーンの吊り具について、事業変更許可の添付書類には記載があるが、設工認申請書には記載がない。</li> <li>・コメント回答 No.1206-01 において、「運用（保安規定）で対応」と整理しているが、吊り具を対象としないと判断した理由を説明すること。</li> </ul> <p>(再コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊方発電所の乾式貯蔵施設の許認可資料を参考に、天井クレーンの吊り具についての記載がないことから設工認申請書の対象外として運用（保安規定）で対応することとしている、との回答があったが、RFSの事業許可における、天井クレーンによる取扱い時の金属キャスクの落下及びたて起こし時の転倒防止の対策のひとつである吊り具の設計（金属キャスクの総重量を十分に上回る重量に耐える強度、圧縮空気喪失時に金属キャスクが外れないフェイル・セーフ設計等）が設工認申請書で確認できないので、記載方法を検討すること。</li> </ul>

(回答)

設工認申請書は、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の別表第2（第9条、第12条関係）及び「発電用原子炉施設の設計及び工事の計画に係る手続ガイド」を参考に作成している。

規則第9条第2項において工事計画には、別表第2の上欄に掲げる種類に応じて、同表の中欄に掲げる事項を記載しなければならないと規定されている。別表第2を確認したところ、つり具についての記載がないことから設工認申請書の対象外とし、運用（保安規定）で対応することとしている。

伊方発電所における、使用済燃料乾式貯蔵施設（平成30年5月25日設置変更許可申請）における審査会合資料（令和元年12月17日）には、垂直吊具及び水平吊具は、関連工具類として記載されているが設置変更許可申請書及び工事の計画の認可申請には記載されていない。（参考資料参照）

(再コメント回答)

「金属キャスクの総重量を十分に上回る重量に耐える強度」については、添付11-1 2.1 受入れ区域天井クレーンに記載している。

つり具の設計を明確にするため、「添付11-1 受入れ区域天井クレーンの金属キャスクの取扱いに関する説明書」を別紙1のとおり変更する。

以上

## 変更前後比較表

変更前	変更後
1. 概要 ..... 1	1. 概要 ..... 1
2. 設計方針 ..... 2	2. 設計方針 ..... 2
2.1 受入れ区域天井クレーン ..... 2	2.1 受入れ区域天井クレーン ..... 2
2.2 圧縮空気供給設備 ..... 3	2.2 圧縮空気供給設備 ..... 3
2.3 仮置架台 ..... 3	2.3 仮置架台 ..... 3
2.4 たて起こし架台 ..... 3	2.4 たて起こし架台 ..... 3
2.5 検査架台 ..... 3	2.5 検査架台 ..... 3
2.6 つり具 ..... 3	2.6 つり具 ..... 3
3. 操作性及び検査又は試験等 ..... 4	3. 操作性及び検査又は試験等 ..... 4
4. 受入れ区域天井クレーンの金属キャスクの取扱いについて ..... 5	4. 受入れ区域天井クレーンの金属キャスクの取扱いについて ..... 5

## 変更前後比較表

変更前	変更後
<p>略</p> <p>2.5 検査架台 検査架台は、金属カスクの受入れ検査、三次蓋の取外し、計測器の取付け等を行うための作業員の足場である。したがって、検査架台は、受入設備ではあるが、金属カスクを直接取扱う設備ではない。</p>	<p>略</p> <p>2.5 検査架台 (変更なし)</p> <p>2.6 つり具 (1) つり具は、圧縮空気が喪失した場合、金属カスクが外れないフェイル・セーフ設計とする。 (2) つり具の取付不良を考慮して、金属カスクを4点つりとする(水平吊具はアーム1本の保持不良があった場合でも落下せず、垂直吊具は主アーム2本及び補アーム2本で二重化しており、主アームの保持不良があった場合でも補アームにより落下しない)。 (3) つり具の取付不良を考慮して、受入れ区域天井クレーンフックによるつり具保持の他に安全板によりつり具を保持する設計とする。</p>

伊方発電所の審査会合資料(抜粋)

第 2.7-2 表 評価で使用する設備の重量

設備	部材	重量(トン)	
		MSF-32P 型	MSF-24P 型
乾式キャスク	①本体	81.0	83.7
	②一次蓋	5.9	5.6
	③二次蓋	4.7	4.5
	④三次蓋	3.5	3.3
	⑤バスケット	6.5	5.6
緩衝体	⑥上部緩衝体	8.7	8.7
	⑦下部緩衝体	6.2	6.2
	⑧燃料集合体	18.9	16.7
関連工具類	⑨垂直吊具	約 4	約 4
	⑩水平吊具	約 8	約 8
	⑪貯蔵架台	約 20	約 20
	⑫輸送架台	約 5	約 5
FH/B 容器吊り上げ重量 (①②③④⑤⑧⑨)		約 125	約 123
乾式貯蔵施設 容器吊り上げ重量 (①②③④⑤⑥⑦⑧⑩⑫)		約 149	約 148
乾式貯蔵施設 搬送重量 (①②③⑤⑧⑪)		約 137	約 136

第 2.7-3 表 評価で使用する設備の仕様

		FH/B クレーン	乾式貯蔵建屋 天井クレーン
容量 (ton) : 主巻		125	160
巻上/巻下速度 (m/分)		1.2	1.2
移動速度 (m/分)	走行	18	18

### 水平吊具及び垂直吊具の概略図

